

桶谷式乳房管理士業務基準と倫理規範

前文

これは、桶谷式乳房管理士以下乳房管理士）が守るべき業務の基準と倫理規範を示したものである。乳房管理士は、助産師の資格を有し、その行う業務は、保健師助産師看護師法に規定されるものである。

乳房管理士は、桶谷式母乳育児推進協会から認定された桶谷式乳房管理士の称号をもち、母乳育児支援専門家として助産師桶谷そとみの創始した桶谷式母乳育児法と桶谷式乳房手技を正しく継承する者であることを承認している。

乳房管理士は、女性と子どもおよびその家族や、それらを取り巻く人々、医療専門家との全ての関わりにおいて、ここに示す業務の基準と倫理規範を守らなければならない。

序文

乳房管理士は、女性と子どもおよびその家族に対し、いつでもどこでも責任を持って質の高いケアを提供しなければならない。業務基準と倫理規範はそのために持つべき能力を具体的に提示するてびきとなる。乳房管理士はクライアントである女性と子どもおよびその家族に母乳育児支援のケアを行う際、個々を診査し、方針を決め、必要に応じたケアを行い、それを評価する。

業務基準は、乳房管理士の行うケアの水準を高く保つための最低限の尺度であり、さらに発展させるための望ましい枠組みとなるものである。

本文

基準 1. 臨床業務（桶谷式乳房手技を含む母乳育児支援業務）

①スムーズな母乳育児開始のためのケア：妊娠期、出産期、産褥期の関わり

乳房管理士は、妊娠、出産、産褥期にある女性の心身の変化と役割への適応を理解し、新生児との絆が深められるような支援を行う。

女性と子どもおよびその家族が自然に母乳育児を開始できるように、乳房管理士は、他の医療従事者と協働して「WHO/ユニセフの母乳育児成功のための10か条」に基づくケアを提供する。つまり乳房管理士は、いかなる状況にある女性と子どもおよびその家族においても、母乳育児への要望と母乳で育つ権利を尊重し、女性と子どもおよびその家族の状況を勘案しつつ、できるだけ出産後早い時期から母乳育児を開始できるようなケアを提供する。母親と新生児は特別な事情がない限り分離することなく、常に母乳育児ができる環境にあるよう配慮する。

②母乳育児継続のためのケア：退院後の関わり

乳房管理士は、母乳育児全期間を通して、女性と子どもおよびその家族の健康を増進し、トラブルを予防し、女性と子どもおよびその家族が個々に満足のいく母乳育児体験となるよう支援する。

乳房管理士は、女性と子どもおよびその家族に関する母乳育児に関する情報を、母乳育児歴を含めて、主観的情報、客観的情報を系統的に収集し、記録する。女性と子どもおよびその家族の健康診査を行い、母乳育児過程を評価し、母乳育児が継続され、満足のいく体験となるよう、ケア計画を立てる。ケア計画は、女性と子どもおよびその家族と共に行い、状況に応じたもので、女性と子どもおよびその家族が受け入れ実行できるものとなるようにする。

③母乳育児終了のためのケア及び更年期を迎えた女性のためのケア：女性の健康増進のための業務

乳房管理士は、母乳育児終了時期を迎えた女性と子どもおよびその家族に適切なカウンセリングとケアを行い、母乳育児が女性の生涯の健康を増進する経験となるよう支援する。また更年期を迎えた女性に対しても、乳房管理士は適切な支援を行う事を目標とする。

④女性と子どもおよびその家族の安全と感染防御のための業務

乳房管理士は、母乳育児支援を行う際、女性と子どもおよびその家族の安全管理と感染防御に努める。また乳房管理士自身の安全と感染防御も考慮する。

⑤他職種と連携

乳房管理士は、必要な場合、すみやかに他の医療職、地域の保健サービスに、文書等をもって女性と子どもおよびその家族を紹介する。紹介する際には、乳房管理士が行ってきた支援の内容、結果についての評価も記載し、個人情報取り扱いに十分配慮する。

基準 2. 母乳育児相談（カウンセリング）

①母親のセルフケア能力を高める方法

乳房管理士は、女性が自らの理想とする母乳育児を行い、母乳育児のトラブルを起こす可能性を少なくするために必要な情報を提供し、セルフケア能力を高める支援を行う。

②インフォームドコンセント

乳房管理士は、桶谷式乳房手技を含め女性と子どもおよびその家族にこれから行うケアについて十分な説明を行い、科学的根拠の有無と予測される結果を、利益、不利益も提示し、承認を得た上で行う。女性と子どもおよびその家族が乳房管理士の呈示したケアを受けない選択をした場合も、その意思を尊重する。

③精神的支援

母乳育児が困難な状況、あるいは母乳育児を中断しなくてはならない状況にある女性と子どもおよびその家族へ精神的支援を行う。

基準 3. 教育

①一般社会への母乳育児の啓蒙的活動

乳房管理士は一般社会に対して、母乳育児がもたらす有益性、つまり女性と子どもおよびその家族に対して、健康を増進すること、および社会的、経済的恩恵を知らしめる啓蒙活動を行う。

②妊娠期にある女性への母乳育児教育

乳房管理士は妊娠期にある女性とその家族に、母乳育児教育を行い、母乳育児への動機付けによって、出産後自然に母乳育児を開始できる準備を行う。

③後継者の育成

桶谷式乳房管理法と桶谷式乳房手技修得を希望する助産師に対しては、研修の場を設け、専門的知識、技術を教授する。

④他の母乳育児支援専門家との協働

乳房管理士は、より良いケアを女性と子どもおよびその家族に提供するために、他の母乳育児支援専門家と協働して支援を行う。その際、お互いの専門的知識の交流をはかる。

基準 4. 法的責任

①保健師助産師看護師法の遵守

乳房管理士は、助産師としての資格を有し、その業務を規定する法律を守る責任がある。

②桶谷式乳房管理法倫理要綱の遵守

乳房管理士は、人々の信頼に応え、桶谷式の名声を高め、女性と子どもおよびその家族の利益を守ることを求められている。したがって乳房管理士は、乳房管理士自身とその協働者、女性と子どもおよびその家族のために、また桶谷そとみと桶谷式乳房管理士の名誉のために、桶谷式乳房管理法倫理要綱を遵守する義務と責任を持つ。

乳房管理士は、母親や他の医療専門家、または一般の人々から寄せられた意見、評価、批判、苦情を、真摯な態度で受け止め、対処しなければならない。乳房管理士は、他の乳房管理士の倫理要綱に抵触する行動を知った場合は、推進協会理事会に報告しなければならない。推進協会理事会は、それらを調査し、推進協会規約に則って対処する。

③WHOコードの遵守

「母乳代用品のマーケティングに関する国際基準」とその決議案を視野に入れた業務を行う。母乳育児関連商品のレンタルあるいは販売によって利益を得る場合は、女性と子どもおよびその家族がそれによって母乳育児を阻害され、不利益をこうむることがある場合は、取り扱ってはならない。

④個人情報保護・記録の保持

業務遂行上知りえた個人に関する情報は、取り扱いに注意し、保護しなければならない。厚生労働省（2004年）

「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に準拠する。

カルテは、助産録の扱いに順じ、5年間保存し、その後は完全に個人が特定されない方法によって破棄する。

⑤開業者としての業務管理

助産所を開業し、その中で母乳育児相談を行う者は、助産業務管理の責務を負う。施設を自ら経営し、安全で快適なケアを提供するために施設に適した理念、目標の設定を行い、掲示する。

健全な財政運営を図り、運営管理上、必要な人的、物的資源を確保し、業務基準や手順を整備する。

基準 5. 地域社会へ貢献する

① 子育て支援、次世代育成支援の政策に関与

乳房管理士は、少子高齢社会の現状を理解し、その育成支援の政策に関与していく使命を持つ。

② 地域の保健事業への参画と連携

乳房管理士は、母乳育児支援の専門家として、すべての女性と子ども、およびその家族をめぐる社会福祉の制度や政策を知り、積極的に関与していく使命を持つ。また他の乳房管理士をはじめ、他の母乳育児支援関係者との連携を図り、協調性を保ちながら母乳育児を推進する役割を自覚する。

- ・地域の保健所、健康センターで行われる母子保健事業への参加協力
- ・新生児訪問事業への参画
- ・母乳育児支援における病産院と地域との連携のコーディネーターとしての役割
- ・社会全般へ母乳育児に対する理解を深める働きかけ
「世界母乳育児週間」に合わせたイベント開催
「健やか親子21」や「いいお産の日プロジェクト、国際助産師等に関連したイベントへの参入
新聞・雑誌に投稿
- ・WEBでの母乳相談、母乳講座開催

基準 6. 専門職としての能力と責任を保つ

①専門的知識技術に関する情報収集

乳房管理士が関わりを持つすべての女性と子どもおよびその家族をめぐる話題に関する専門的情報や新しい研究、知見に対して、常に学ぶ姿勢が求められる。乳房管理士は、桶谷式乳房管理法を基盤としたケアの提供者として、他の領域との調和を図り、質の向上を目指す。

②桶谷式乳房管理法の研鑽

桶谷式乳房管理法に対して、謙虚に自身の能力を見極め、常に研鑽する姿勢を持ち、その基本理念の理解を深める努力を怠らない。他の乳房管理士からの教育、評価、研究は、乳房管理士としての実践能力を高めるものとして有効である。

③桶谷式乳房管理法に関する研究

乳房管理士は、桶谷そとみの桶谷式乳房管理法の理念の根幹を揺るがすことなく、その発展に寄与するために、倫理的に配慮され、科学的な根拠に基づいた研究を深めていかなければならない。

2021年4月4日改定